

令和5年度第1回小牧市地域公共交通会議会議録

1 開催日時 令和5年4月17日（月）午後2時00分から

2 開催場所 小牧市役所本庁舎 601 会議室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 地域活性化推進本部 地域連携部長

川 本 晃 平
(夫馬康昌 代理)

名鉄バス(株) 運輸本部 首席交通企画官

大 野 淳

あおい交通(株) 代表取締役

松 浦 秀 則

尾張小牧タクシー(株) 取締役

江 川 修

愛知県タクシー協会 副会長

安 藤 和 人

愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事

高 木 数 馬

公共交通利用促進協議会 会長

安 藤 和 憲

小牧市区長会 連合会長

近 藤 鎮 彦

小牧市老人クラブ連合会 副会長

浦 西 信 治

小牧市女性の会 会計

林 順 子

中部大学工学部都市建設工学科 教授

磯 部 友 彦

中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官

宮 川 高 彰

(本田慎一郎 代理)

愛知県都市・交通局 交通対策課 担当課長

石 屋 義 道

(赤羽茂樹 代理)

愛知県 尾張建設事務所 維持管理課長

吉 金 典 晃

愛知県小牧警察署 交通課長

稲 垣 守 之

(細羽俊輔 代理)

小牧市公共交通功労者

小 柳 松 夫

犬山市 市民部 防災交通課長

伊 藤 修

豊山町 産業建設部 まちづくり推進課長

下 村 友 美

小牧市 福祉部長

伊 藤 俊 幸

小牧市 建設部長

前 田 多賀彦

小牧市 都市政策部長

鵜 飼 達 市

(2) 事務局

小牧市 都市政策部 次長

堀 場 武

小牧市 都市政策部 都市整備課長

川 島 充 裕

小牧市 都市政策部 都市整備課交通政策係長
小牧市 都市政策部 都市整備課交通政策係主事

清 水 靖 史
宮 田 一 朗

(3) 傍聴者

1 名

4 欠席者

公益社団法人愛知県バス協会 専務理事

小 林 裕 之

5 議題

(1) 小牧市地域公共交通計画の策定について

6 報告

(1) こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について

(2) こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて

(3) こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車の実績報告について

(4) 愛知県公共交通協議会設置規約について

7 会議資料

資料 1 小牧市地域公共交通計画の策定について

報告資料 1 こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について

報告資料 2 こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて

報告資料 2－1 バス停設置箇所図

報告資料 3 こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車の実績報告について

報告資料 4 愛知県公共交通協議会設置規約について

参考資料 小牧市地域公共交通会議委員名簿

参考資料 小牧市地域公共交通会議設置要綱

配布資料 こまくるガイド

配布資料 民間路線バスマップ

配布資料 乗って残そう、乗って活かそう！間内・岩倉線

配布資料 活発で良い議論ができる会議のために。

配布資料 改善基準告示が改正されます！（バス、タクシー、トラック）

8 議事内容

【事務局】（川島課長）

大変お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただいまより、令和5年度第1回小牧市地域公共交通会議を開催させていただきます。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本会議の進行役を務めさせていただきます小牧市都市整備課長の川島です。

それではまず、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

資料は、事前にお配りをさせて頂いておりますが、本日の次第、次に資料1として「小牧市地域公共交通計画の策定について」、報告資料1として「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況につい

て」、報告資料2として「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」、報告資料2-1として「バス停設置箇所図」、報告資料3として「こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車の実績報告について」、報告資料4として「愛知県公共交通協議会設置規約について」、参考資料として「小牧市地域公共交通会議委員名簿」、及び「小牧市地域公共交通会議設置要綱」でございます。また、現在のこまくるの路線図・時刻表のこまくるガイド、国土交通省中部運輸局愛知運輸支局様からの地域公共交通についてなどの資料を本日机上に配布させていただいております。

なお、資料1「小牧市地域公共交通計画の策定について」は修正がございましたので、机上に配布させていただいたものと差し替えていただきますようお願いします。

これらの資料につきまして、本日お持ちでない方や、不足等ございましたら事務局までお知らせください。

よろしいでしょうか。ご確認ありがとうございます。

続きまして、人事異動等に伴い、新たに就任していただいた委員の方もいらっしゃいますが、時間も限られておりますので、お手元の参考資料の、委員名簿をもちまして、ご紹介に代えさせていただきます。

また、本日は、名古屋鉄道株式会社地域活性化推進本部地域連携部長の川本委員に代わり同地域活性化推進本部交通サービス担当主務の夫馬様に、中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官の宮川委員に代わり、同首席運輸企画専門官の本田様に、愛知県都市・交通局交通対策課担当課長の石屋委員に代わり、同交通対策課主査の赤羽様に、愛知県小牧警察署交通課長の稲垣委員に代わり同交通課総務係警部補の細羽様にご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。なお、公益社団法人愛知県バス協会専務理事の小林委員におかれましては、ご欠席との連絡をいただいております。

また、事務局につきましても、本日配布させていただきました資料の、配席図にてご紹介に代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは事務局を代表いたしまして、都市政策部次長の堀場より挨拶を申し上げます。

【事務局】（堀場次長）

皆様、改めまして、おはようございます。都市政策部次長の堀場でございます。

本日は、大変ご多忙の中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、日頃より、本市の交通政策に、ご指導、ご助言を賜っておりますことに、心より感謝を申し上げます。

さて、本日は、小牧市地域公共交通計画の策定及びこまき巡回バス「こまくる」の再編計画の概要や、計画策定等に関する今後の流れなどをご協議いただきます。また報告事項といたしまして、こまき巡回バス「こまくる」の利用状況や、今年度実施しております「こまくる」に関する施策について、ご説明させていただきます。

委員の皆様におかれましては、活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

【事務局】（川島課長）

本日の出席委員は21名でありますので、委員総数22名の過半数に達しております。

従いまして、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立をいたしております。

また、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第5項の規定により、本会議は原則として公開することとされております。本日は、1名の方から会議傍聴の申し出がありましたので、ご報告申し上げます。

それでは会議を始めるにあたりまして、磯部会長よりご挨拶をいただきます。磯部会長、よろしくをお願いいたします。

【磯部会長】

会長の磯部でございます。

年度が変わり色々と新しいことがあるわけですが、約3年間続いたコロナの話ですが、ちょっと落ち着いており、決してなくなったというわけでは無いんですけれども、大学でも普通に学生が来ていると言うところであります。

しかしながら、この3年間のコロナの生活において、新しい生活様式ということが進んできている中で、これから小牧市において、地域公共交通計画を策定していくということでもあります。当然ながら単なる乗り物だけの話ではなくて、新しい生活様式に合うものは一体どんなものかという、また、それに合わせた交通はどういったものか良いのかというのを考えていく必要があると思いますので、委員の皆様にはご協力よろしくお願いいたします。

【事務局】（川島課長）

ありがとうございました。

ここで、今年度第1回目の会議でありますので、中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官本田様より、資料についてご説明いただきたいと思います。本田様よろしくお願いいたします。

【本田委員代理】

ただいまご紹介に預かりました愛知運輸支局の本田でございます。

本日はよろしくお願いいたします。

今年度最初の地域公共交通会議ということで、新しく委員になられた方も少なからずいらっしゃるということで、再確認の意味を含めまして公共交通会議の意義・目的、そういったところを簡単ではありますがご説明させていただきたいと思います。

「活発で良い議論ができる会議のために。」にという資料をご覧ください。

1枚めくってください。皆様方少なからず感じていらっしゃると思いますが、全国において、鉄道・バス・タクシー、いわゆる公共交通の利用者が長らく減少傾向にあります。いろんな路線の縮小、廃止などが全国的にも広がっておりまして、公共交通の危機に面しているところであります。こういった厳しい状況にある地域公共交通の維持存続には何が必要なのかといったところでございますが、地域によって特性がございますので、これをやればというものはないのですが、その地域の方々、住民を始めといたしました関係者の皆様が、公共交通に対して当事者意識をしっかりと持っていて、考えていただいて、様々な意見を出し合っていくことが、まずもって必要なことなのではないかと思われます。そういった意味合いを含めまして、関係者一同が話し合う場として、この公共交通会議といったものが制度化されたところであります。様々な立場の委員さん

が選任されております。それぞれの各委員さんの立場、視点での公共交通に対する意見や思いを出していただくといったことが、改善の糧と考えておりますので、忌憚のないご意見を出していただければと思っております。

3 ページ目に各委員さんに期待される役割等を記載させていただいております。時間の関係もございますので、お時間あるときにご覧いただければと思います。

4 ページ以降も様々な関係となるような事項を取りまとめさせていただいております。これに関しましても、お時間あるときにご覧いただき、今後の公共交通会議の場で参考としていただければと思っております。

私の方からは以上となります。

【事務局】（川島課長）

ありがとうございました。

それでは議事に移ります。

議事の進行につきましては、磯部会長にお願いしたいと思います。

磯部会長、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

それでは、会議を進行してまいります。

まず初めに、議題(1)「小牧市地域公共交通計画の策定について」であります。

この件について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（清水係長）

それでは、議題(1)「小牧市地域公共交通計画の策定について」、ご説明申し上げます。お手元の資料1をご覧ください。

まず、1 概要についてです。

本市の交通マスタープランである「小牧市地域公共交通網形成計画」は、平成26年11月の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正により、各市町村における、地域の活力と交流を育み、地域を支える持続可能な交通体系の構築を目指すことを目的とした「地域公共交通網形成計画」の策定が規定されたことを受け、平成30年3月に策定したところであります。

さらに、同法は令和2年11月に、新たな計画として、地域内で運行を行う交通事業者の連携を促進し、効率的な地域旅客運送サービスの充実化につなげるとともに、まちづくり施策や観光振興施策と連携したサービスの持続的な提供を推進することを目的とした「地域公共交通計画」の策定を市町村の努力義務とする改正がなされたところであります。

このため、計画期間を令和5年3月までとしていた「小牧市地域公共交通網形成計画」は、令和4年度に「小牧市地域公共交通計画」として策定することとしていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、公共交通利用者が大幅に減少し、計画の策定に必要な公共交通の利用実態を的確に把握することが困難であったため、策定を見合わせ、昨年度の地域公共交通会議で報告したとおり、計画期間を2年延長し、令和7年3月までとしました。

そうした中、新型コロナウイルス感染症による公共交通利用への影響は、昨今安定化してきたため、今般、本市の同計画を令和5年度から2カ年をかけて策定することとしたものであり、策定に

あたっては、法定協議会である本「小牧市地域公共交通会議」において協議を行うものであります。

また、令和2年度に再編運行したこまき巡回バス「こまくる」は、概ね5年ごとに利用状況を踏まえて再編することとしており、この計画の策定と合わせて、本会議において再編計画の協議を重ねてまいります。

続いて、2業務の実施についてです。

まず始めに、(1) 業者の決定方法についてです。

小牧市地域公共交通計画策定等支援業務委託につきましては、小牧市地域公共交通計画策定等支援業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、公募型プロポーザル方式で業者を決定いたします。審査委員には、本協議会の会長、副会長含め5名の委員に就任いただく予定であり、日程につきましては、資料のとおりです。

続いて、(2) 令和5年度の業務内容についてです。

令和5年度の業務内容につきましては、7月から9月にかけて本市における公共交通の現状・特性、課題の整理を行い、9月から11月にかけてアンケート調査等各種ニーズ調査を実施いたします。各種ニーズ調査の結果を踏まえ、10月から11月にかけて市内6箇所にて地域懇談会を実施いたします。その後、各種ニーズ調査や地域懇談会の結果を踏まえ、地域公共交通計画の基本方針の設定や、こまき巡回バス「こまくる」の評価・検証を行います。

続いて、(3) 令和5年度の小牧市地域公共交通会議の開催についてです。

令和5年度は本日を含め地域公共交通会議の開催を3回予定しております。各回の会議の内容は資料のとおりです。

最後に、(4) 令和6年度、令和7年度の業務内容についてです。

令和6年度、令和7年度は資料にある業務内容を予定しており、各業務を経て、令和7年3月に「小牧市地域公共交通計画」の策定、令和8年4月にこまき巡回バス「こまくる」の再編運行開始を予定しております。

委員の皆様におかれましては、計画の策定及び「こまくる」の再編に関しまして、ご協議をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上で議題(1)「小牧市地域公共交通計画の策定について」の説明とさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がありましたが、小牧市地域公共交通網形成計画の計画期間を令和5年3月から令和7年3月まで2年延長し、令和5年度から2カ年をかけて小牧市地域公共交通計画を策定するとのことであります。

また、同計画の策定と合わせて、こまき巡回バス「こまくる」の再編計画の協議を重ね、令和8年4月に再編運行を開始するとのことであります。

この件について、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

【赤羽委員代理】

愛知県交通対策課の赤羽と申します。

小牧市の方で計画を策定されるということで、活性化再生法の改正に伴う計画ということだと思うの

ですけれども、法改正によって、補助と計画の連動ということが言われております。関係するのは地域間幹線系とフィーダー系統といわれる種類の系統なんですけれども、幹線系については県で把握することができるんですけれども、フィーダー系統は小牧市にはありますでしょうか。

【磯部会長】

フィーダー系統の路線は小牧市内にあるのかというご質問です。
事務局の方、ご回答お願いします。

【事務局】（清水係長）

本市においては、フィーダー系統と呼ばれる路線はありません。

【赤羽委員代理】

ありがとうございます。

そうすると幹線系統だけということになりますけれども、小牧市だと1系統ということだと把握しておりますが、策定される計画において幹線系をどのように扱うか、ある程度決まっていらっしゃるのでしょうか。

【事務局】（清水係長）

幹線系統の件についてであります、本市においては名鉄間内岩倉線がそれにあたります。今、県において策定されている計画の中に名鉄間内岩倉線の内容を記載していただけるようお願いをしているところであり、本市の計画にも同様の記載をさせていただきたいと考えておりますので、県さんと調整させていただきながら、記載内容の整合がとれるようにしていきたいと考えております。

【磯部会長】

ありがとうございました。
他に何かご意見、ご質問等ありませんか。

【吉金委員】

尾張建設事務所の吉金と申します。よろしくお願いいたします。

小牧市の地域公共交通計画の業者の決定は、公募型のプロポーザル方式と書いてありますけれども、業者さんからの提案に基づいて、審査委員会において審査されると思うんですけれども、その提案を受けるところ、この場合でいいますと（２）各種ニーズの調査くらいなのかなと思うんですけれども、具体的に何か審査するというか、提案を受ける箇所があれば教えていただきたいです。

【磯部会長】

業者選定の方法や審査内容ですね。
事務局の方、ご回答お願いします。

【事務局】（清水係長）

まず計画の策定にあたりまして、策定の支援をしていただく業者を決定していくということで、業者

の選定については、広く公募型のプロポーザルにおいて募集をかけたいと思っております。

その中で、実際に業者をどう選定していくのかというところでございますが、業者の経験や能力、実際の業務実施方針や業務フロー及びスケジュールがきちんと立てられているかどうか、取組みの意欲がどのようにあるかなど、そのようなところをご審議いただいて決定をしていきたいと考えております。

【磯部会長】

この地域公共交通会議の何人かの方に、代表で審査をしてもらうと言うことでありますけれども、逆に皆さんの方で、こんな項目は審査項目に入れて欲しいというのがあれば、審査委員会のほうに提案できますけれども、何かございませんか。

【大野委員】

名鉄バス大野でございます。

法改正によりまして、地域公共交通計画を各自治体において、努力義務ということで改正されるという事ですが、この資料の内容を見ると、地域内で運行を行う交通事業の連携を促進しと書いてあるのですけれども、最終的な内容というのが、毎度言わせていただいている通りこまくるの話がほとんどであります。弊社のバス、また他の事業者様の自主路線がございます。それから、鉄道やタクシーなどがございますけれども、その辺が全く書かれていないというところは何か意図がございますでしょうか。

【磯部会長】

事務局の方、ご回答をお願いします。

【事務局】（清水係長）

今ご質問いただきました件につきまして、特にあえて意図して書いていないというものでもありませんし、計画については、交通の総動員ということで、小牧市にある公共交通の全てをその計画の中で網羅しながら、どんな計画にしていくのかというところを決定していくところでございますので、市内を運行しております名古屋鉄道さんや名鉄バスさん、あおい交通さん、タクシーの事業者さんも含めて計画を策定していく上では、色々ご協議させていただきたいと考えておりますし、多くのご意見をいただければと思っております。

【磯部会長】

今回の協議事項は2つの計画を作ると言うことであります。地域公共交通計画を作るものと、こまくるを再編するための計画という2つです。地域公共交通計画というのは、今説明があった通り、総動員です。すべての乗り物が対象となります。それを並行しながら、市の事業としてこまくるの再編をやっけていき、適切な時期に再編運行をしていきたいということでもあります。

今回の資料は、地域公共交通計画の策定についてとなっておりますが、こまくるのことも書き込んでしまっているので、少し混乱を招いたところがあるかと存じますが、2つの計画を策定するというように解釈いただければと思います。

【事務局】（川島課長）

補足でお伝えをさせていただきます。

現在の計画であります小牧市地域公共交通網形成計画につきましては、本地域公共交通会議で策定したものでありますが、新たに作成いたします小牧市地域公共交通計画につきましては、小牧市が作成するものでございますので、補足でお伝えさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

他に何かご意見、ご質問等ありませんか。

【赤羽委員代理】

愛知県交通対策課の赤羽です。

先ほど名鉄バスさんから民営バスについての話題が出ましたので補足をさせていただきます。間内岩倉線の系統につきましては、もともと小牧市さんから要請されて運行している路線と県では把握しております。そのためということなんでしょうけれども、県と国とは別に、市としても補助を出されていると把握しております。そういったことを考えると、市にとって必要な路線であるというように小牧市さんの方でも認識されていることと思います。ただ、県の方では幹線系統を扱っておりまして、この間内岩倉線は4月から大きな変更がございました。この場では、こまくるの話題が中心になってくると思いますけれども、県の立場としては、せつかくの機会でございますので、こういった幹線系統についても、この場でちょっと話題にさせていただければという考えであります。

つきましては、間内岩倉線等、名鉄バスさんに路線の状況などを少し説明いただけないかなと思っておりますが、会長よろしいでしょうか。

【磯部会長】

路線の現状については別途時間をとってお話いただきます。

今の議題としましては、地域公共交通計画の内容及びスケジュールということですので、後ほどのタイミングでよろしいですか。

【赤羽委員代理】

市の全体の交通モードを取り扱う計画と認識しておりますので、そういったことも議論に付け加えさせていただければと考えての発言であります。ただ、この資料の中では、どの段階でどの話題が出てくるかということがわかりませんので、発言をさせていただいたんですけれども、議論する機会があるということでしたら、その際にということで大丈夫でございます。

【磯部会長】

事務局どうですか。

【事務局】（川島課長）

先ほど会長がおっしゃられた通り、各路線の状況につきましては、名鉄バス様含め、民間事業者様に利用状況等の報告をいただく予定をしております。名鉄間内岩倉線について簡単に申し上げますと、令和元年度までは緩やかではありますが、利用状況は増加傾向にありました。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、令和2年度以降は利用者数が減少している状況であります。小牧市としま

しても、沿線の市であります岩倉市と協議を行いまして、沿線の住民の方にチラシを配布したり、各小中学校にもチラシを配布させていただいたりして、利用促進に努めているところであります。また名鉄バス様とも協力しながら、利用促進を図ってきておりますので、今後も引き続き、利用促進を図っていきたいと考えております。

名鉄間内岩倉線の協議におきましては、地域公共交通計画策定の協議と合わせまして、必要に応じて本会議においても、協議をさせていただきたいと思っております。

【磯部会長】

地域公共交通計画をこれから作っていききたいと、そして作るためにはまずはそのための業者選定をしていききたいと、業者選定はプロポーザル方式ですので、どんなアイデアを持ってくるのかを期待したいと思っております。計画の中身については、今の段階では確定できないと思っております。業者が決まり次第、皆さんのアイデアやご意見をいただいて、計画の中身としていききたいと考えております。

【事務局】（清水係長）

追加で資料をお渡しさせていただきましたけれども、名鉄間内岩倉線のチラシと A3 のみんなで乗ろう公共交通というチラシになります。

A3 の資料につきましては、3 月 15 日号の広報こまきにおいて、公共交通はこまくるだけではなく、多くの民間路線が市を走っているということを周知し、民間のバス路線をみんなで乗って守っていこうということを広報を使って、市民の方に周知をしていくという取り組みを行いました。

【磯部会長】

今のは、1 つの事例としてお話ししたというところで解釈してください。全部話をしないとこの議案 1 が可決できないということになりますと、今日 1 日では解決できないと思っております。なのでまずは、計画策定を開始したいというようなことが議案の趣旨でございます。それで実際には、色々な路線の話があります。過去から現在までの色々な取り組みがなされてきております。それに対してどのように我々も反省して、これからどうしていけばいいのかというのが、これからの調査内容に入ってくると思います。そこを業者さんにお手伝いしていただいて、皆さんに色々ご意見をいただくかも知れませんが、そうやって色々情報集めて、計画の策定につなげていききたいと考えております。その時はぜひご協力をいただきたいと思います。

まずは、計画の策定業務を進めていききたい、計画の策定スケジュールはこうしていきたいよというところがこの議案の趣旨でございます。

他にこの議案について何かご発言ありませんでしょうか。

【本田委員代理】

愛知運輸支局本田でございます。

私の方からは計画の策定のスケジュールについて、1 つお願いというかご提案があります。5 年 6 年の 2 ヶ年にわたって計画を審議し、策定していただくということで、2 ページ目 3 ページ目に今後のスケジュール的な部分を文書で書いていただいているところではありますが、なかなか文書では皆さんイメージを掴みづらいところがあると思いますので、何か一覧表的なもの、いわゆるロードマップ的なような形で各委員さんに、今現在どの時点であるかというのがわかりやすくなるような、ロードマップ的

なものを作成していただければ、より感覚的に掴みやすいのではないかと思いますので、今後ご検討いただければと思います。

【磯部会長】

事務局さん、ロードマップの方はお願いします。地域公共交通計画を立てる流れと、こまくるの再編の流れは別の流れですが、一部の部分では関連していくというような流れになると思いますので、そのようなロードマップがあったほうがわかりやすいと思いますのでよろしくお願いします。

他に何かご意見、ご質問等ありませんか。

【安藤委員（愛知県タクシー協会）】

議題として、計画の作成を進めていくということについては、磯部先生のおっしゃる通り賛成であります。しかし、先ほど愛知県の委員さんがおっしゃるように、色々な交通事業者の連携というのが地域公共交通計画に求められると考えております。しかし、残念ながら小牧市さんの場合においては、タクシー部門は今まで全然参加していなかったところであります。他の市においては、参加しているところではありますが、急にプロポーザルをするから入れと言われましても困りますので、その辺のところは配慮をしていただかないと、いきなり計画を作られましても、タクシー事業としても厳しいところはございますので、ぜひ全体的な部分をもう少し丁寧に説明いただきたいということを期待して、賛成とさせていただきます。

【磯部会長】

プロポーザルでは、計画を作るのを支援してくれる業者の選定をするのであって、計画を丸々作るというプロポーザルではございませんので、そこだけ了承いただければと思います。

業者の提案によって、事務局がどう考えていくかというところはございますが、提案に対しても、皆様のご意見をいただきたいと考えております。

あくまで、プロポーザルで選ばれた業者が計画を勝手に作成するというわけではございませんので、必ず我々が一緒になって作るという話であります。

【安藤委員（愛知県タクシー協会）】

業者さんが事前に交通事業者を呼んで、ヒアリングしているという旨もございますので、そういったところも含めまして、丁寧に説明いただければと思います。

【磯部会長】

それはプロポーザルのやり方の中身だと思いますので、あくまでプロポーザルにおける業者の選定については、公平にプロポーザルの審査を審査委員会においてやっていくということでもありますのでよろしくお願いします。

【安藤委員（愛知県タクシー協会）】

交通形態のデザインを描かれても、なかなかそれを実現することが難しいという状況もあるので、市によっては事前にヒアリングをされているところもあるので、そういうことがお願いできれば思っている発言あります。

【磯部会長】

そういったことも加味して、プロポーザル審査のやり方を慎重にやっていただきたいと思っております。

まずはとにかく進めるということで、皆さんと一緒にこの計画は作っていくということでございますので、きちんと計画の原案を提案してもらって、それに対して皆さんから意見をもらって、より良いものにしていき、最終的には皆さんが納得する形で計画をまとめていくという形になるかと思っております。

他に何かご意見、ご質問等ありませんか。

【小柳委員】

小柳というものでございますが、日程を出していただきましたので、私はこれはこれでしっかり進めていただければ良いと思います。現在の小牧市の交通につきましては、現場としては、民間事業者の皆様のご協力やご指導、あるいは関係団体の協力によって、私ども住民としては、それなりの交通の体系を整えているなと思っております。

ただ、これから先どうなるかということについては、計画の方針が出てくるとは思いますけれども、途中で地域における懇談会等もありますので、私は桃花台に住んでおりますけれども、苦い経験をした過去があります。新交通システム桃花台線です。そういうこともありまして、こういう問題については、地域として非常に重要に考えておりますので、今後計画を策定するにあたっては、十分地元の私どものご意見を聞いていただいて、それを踏まえて策定していただければと思います。

これからどういう業者が選ばれ、どういう方向性を出してくるかというのは興味深いです。小牧も民間の方が開発しているハイウェイオアシスという、中央道路に刈谷にあるようなハイウェイオアシスというのが進められています。来年の3月にオープンするという方向で、今努力されておりますので、その辺も含めて、様々な検討をしていただく状況になってくるとは思います。

したがって私は、この計画の策定を順調に進めていただいて、私どもの意見や、また会長もおっしゃるように自治体の皆様や、関係機関の皆様、民間事業者の皆様のご意見を聞いて、策定していただければと思いますので、日程通り進めていただければと思います。

【磯部会長】

今、色々なご指摘いただいたことを十分に加味しまして、検討することといたしまして、この計画の策定の手順を進めていきたいということでございます。

そういうことを条件としまして、この議題(1)「地域公共交通計画の策定について」、このようなスケジュールやおおまかな内容について、原案通り進めていくことについてご異議ございませんでしょうか。

《異議なしの声》

【磯部会長】

ありがとうございます。

議題(1)「小牧市地域公共交通計画の策定について」は、原案のとおりで進めることとして承認さ

れました。

本日の議題は以上であります。皆様、慎重にご審議いただきありがとうございました。

続きまして、次第の「3 報告」に入ります。

報告ということで、本日議決を得るものではございませんが、それぞれの説明の後、ご質問、ご意見がありましたらお伺いしたいと思います。

それでは、報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(清水係長)

それでは、報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料1をご覧ください。

上の表は、令和元年の4月から令和5年の3月までの月ごとの利用状況を棒グラフで表しております。

下の表は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度の乗車人数と新型コロナウイルス感染症が流行しました令和2年度以降の乗車人数について、月ごとの比較を折れ線グラフで表しています。令和元年度と令和2年度の比較を青色、令和元年度と令和3年度の比較を黄緑色、令和元年度と令和4年度の比較を赤色の折れ線グラフで表しております。

令和4年度は、グラフのとおり、90%強、10月以降に関しては100%以上まで乗車人数が回復しているところであります。

現在、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきており、マスクの着用が緩和されているところではありますが、これまで同様、運行事業者であるあおい交通が、車内の消毒や換気などの感染対策を実施し運行してまいりたいと考えております。

以上で報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ただいま事務局から「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」ご説明がありましたが、小牧市内の他の公共交通の利用状況についてもご報告をいただきたいと思います。

まずは、名鉄小牧線の利用状況について、名古屋鉄道夫馬主務よりご報告をお願いいたします。

【夫馬委員代理】

名古屋鉄道の夫馬でございます。

ただいま会長よりお話がありました名古屋鉄道の利用状況でございますけれども、全体の数字としてご報告させていただきます。

他の交通事業者様も同様であると思いますが、やはりコロナの関係で定期券及び定期外ともに低迷気味というところがございます。2022年度第3四半期までの輸送人員について、コロナ前の2019年度と比較をしますと、定期券につきましては、約85%位であり、定期外につきましても、約80%位という状況でございます。ただし、2021年度と比較しますと、定期券につきましては、若干のプラス、定期外につきましても、若干のプラスでございます。ただし、今後もテレワークの定着による出勤減や出張頻度も中々回復しない状況、あるいは世界情勢の不安定な状況によりなかなか海外

旅行にも行きづらい状況が続いていますので、利用状況がコロナ前の状態に回復するということは難しいと考えております。利用状況の報告は以上となります。

【磯部会長】

ありがとうございました。

それでは続きまして、名鉄バスの利用状況について、名鉄バス大野首席交通企画官よりご報告をお願いいたします。

【大野委員】

名鉄バス大野でございます。

日頃は、名鉄バスをご利用いただきましてありがとうございます。

先ほど、名古屋鉄道様、それから小牧のこまくるの方の利用状況の説明がありましたが、弊社の路線バスについては、大まかに名古屋鉄道の小牧線を境に、東半分と西半分に分かれております。

東半分の方は、春日井方面、または勝川方面、それから高蔵寺方面に、西半分は岩倉方面の3系統、桜井経由、市民病院経由、市役所経由、それから先ほどから話題にあがっております、間内駅から岩倉駅のほうに向かっている路線がございます。

この東半分と西半分については、利用状況がはっきりと分かれております。東半分につきましては名古屋鉄道様と同様、85%以上、状況によっては90%を超えるような利用状況まで戻っておりますが、西半分、岩倉3線、市民病院、市役所が集中している区間でございますが、こちらの方の戻りが非常に悪い。70%を超えるのがやっとというところで、昼間帯を見ていただければ分かりますが、小牧駅を出てから途中停留所まで、乗客が全くいない状態、やっと小木とかその辺まで行くと、岩倉駅まで行くお客さんがみえて、何とかこの路線の方の数字が上がっているような状況であります。間内岩倉線につきましても、当初から小牧市様の要望ということで路線をひかさせていただきましたが、こちらの方につきましても、同様に戻りが悪い。こちらの方も小牧市様と共同で沿線の市民の方等に向けていろいろ努力をしているところではあります、今1歩というところでございます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

それでは続きまして、ピーチバス、桃花台バスの利用状況について、あおい交通松浦社長よりご報告をお願いいたします。

【松浦委員】

あおい交通の松浦です。

弊社のことを申し上げますと、ビーチバスと桃花台バスに関しましては、90%位の利用状況に戻ってきております。名古屋空港線は、実は去年の時期から、栄-名古屋空港という路線を廃止させていただいております。名古屋空港-名古屋駅の便は減便をさせていただいております。

こまき巡回バスのことに関しましては、先ほど報告がありましたけれども、私の感覚ではあります、65歳以上の方が無料ですので、毎年無料の対象者が増えていっておりますので、自然増的に利用者が増えていくような料金体系といえますか、人数はそれほど減っていないというように思いますし、今後ともそんな大きく減るような事はないのではないかと考えております。

ピーチバスは小牧駅へ、桃花台バスは春日井駅へ走っておりますが、問題があります。この後、タクシーさんが発言されるかもしれませんが、乗務員不足ということがありまして、どんどんダイヤを増やすというわけにもいきませんので、乗務員不足というのが大きな問題として1つありまして、これは毎月のように乗務員の募集をしておりまして、何とか現在のダイヤ、路線をキープしていかなきゃいけないという使命感を持ってやっております。

【磯部会長】

ありがとうございました。

それでは続きまして、県内のタクシーの利用状況について、愛知県タクシー協会安藤副会長よりご報告をお願いいたします。

【安藤委員（愛知県タクシー協会）】

愛知県タクシー協会の安藤です。

今日は尾張小牧タクシーさんもいらっしゃってますので、代表した意見になるかどうかは分かりませんが報告させていただきます。

私は、尾張地区を担当しておりまして、尾張地区をみますと、やはりコロナ前の7割から8割程度しか戻っていない状況でございます。一番大きいのは、やはり行動変容と飲食店さんの閉鎖というのがありまして、夜の戻りは今後も期待できないのではないかと考えております。

皆さんに大変ご迷惑をかけておりますが、3月20日に10%程度の値上げをさせていただいて、これは乗務員の確保をするため、先ほど松浦社長もおっしゃったようにタクシーは今でも恒常的に減っておりますけれども、今後もさらに減っていくであろうという予想をしておりまして、特にこのチラシで配られております、令和6年4月から改善基準の告示が改正されることによって、タクシーは拘束時間を長くすることによって、乗務員の稼ぎを維持してきたという部分がございます。この拘束時間を厚生労働省から減らせという指示がございましたので、本来であれば、この尾張北部交通圏は春日井市が300,000人の人口を持っておりますので、名古屋市並みの労働時間にせよというところがございますけれども、私どもも、東京の方で組織を挙げてそれは困ると、地方の方はもっと苦しいということを、厚生労働省の方に、原則としてという言葉も1ついただいたという所で、原則というところなので、いずれ名古屋と同じようにやっていくと考えております。名古屋も12月に運賃改正をしまして、名古屋の方が圧倒的に今乗務員を応募しております。やはり、2極化しておりまして、皆さんインターネットとかで見て、名古屋のタクシーの方が稼げるというところで名古屋に新しい乗務員が集中しているという状況になってきますと、我々のこういった名古屋以外の交通圏はどうやって今後乗務員を確保していくか。先ほど、私がなぜあの時発言しないといけなかったといいますと、フィーダー輸送などの他の交通で参加しろと、タクシーは言われております。それは、10年前に言われるのであれば良かったんですけども、これだけ乗務員が減ってきた中でどうやって参加すればいいのか、運行形態をきちんと考えた上でやっていかないと、国から補助金はないわで、地方の方で相当難しい要求をされているのではないのかと考えております。

今回の地域公共交通計画は、まだ内容がしっかり出ていませんので、私はちょっと慎重に計画の策定をお願いしたいと、しつこく先ほど言わせていただいたところであります。なので、小牧市さんにおいても、ぜひ現状を把握した上で、慎重に計画を策定していただきたいと思っております。

【磯部会長】

いろいろと直接お話を聞くと知らないことを知ることができまして、いい話もあれば、深刻な話もあります。そういったところも含めて、新たな地域公共交通計画の策定に活かしていくとともに、今現在すぐに対応していかなきゃいけない課題もあるかと思いますので、色々と今後検討の参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

ただいま、こまくるをはじめ、それぞれの交通機関から利用状況の報告がありました。

この件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

無いようですので、次に報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」、報告(3)「こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車の実績報告について」、一括して事務局より説明をお願いします。

【事務局】(清水係長)

それでは、報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料2をご覧ください。

昨年度開催いたしました、令和4年度第1回小牧市地域公共交通会議でご協議いただきました、「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等見直しについて」において、(仮称)第3老人福祉センターとしておりましたバス停の名称について、第3老人福祉センターの愛称が「田県の郷」に決定しましたことから、「こまくる」のバス停の名称を「田県の郷」としました。

また、施設のオープン時期が令和5年6月1日に決定いたしましたので、施設のオープンに併せてこまき巡回バス「こまくる」も新たなルート及びダイヤで運行いたします。

なお、詳細なバス停の位置は報告資料2-1のとおりであり、施設西側ロータリーに設置いたします。

以上で報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」の説明とさせていただきます。

続きまして、報告(3)「こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車の実績報告について」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料3をご覧ください。

令和4年度第1回小牧市地域公共交通会議で報告させていただきました、「こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車について」の実績を報告いたします。

概要としましては、第43回小牧市民まつりが令和4年10月15日(土)、16日(日)に開催され、イベント開催時に懸念される会場周辺の駐車場や駐輪場の混雑緩和につなげるため、開催2日間の終日、こまき巡回バス「こまくる」の全路線全便の利用料を無料としたものです。

実績といたしましては、こまき巡回バス「こまくる」の無料乗車を実施したことによる効果として、駐車場については、市営駐車場のラピオ地下駐車場、図書館地下駐車場、浦田駐車場は、市民まつり開催時間帯は常に満車状態でしたが、市営駐車場の小牧駅地下駐車場はピーク時でも8割程度の利用でした。駐輪場については、市民会館会場や小牧山会場の市民まつり来場者用の臨時駐輪場が満車状態でした。

このことから、今後の市民まつりにおいても、来場の際は、積極的に公共交通を利用していただけよう周知を図ってまいります。

なお、参考として、市民まつり開催日のこまくるの乗車人数や市民まつりに来場した際の交通手

段等の令和元年度と令和4年度の比較を裏面に記載させていただいております。

以上で報告(3)「こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車の実績報告について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

新しい施設をうまく利用して、敷地内のところをうまく活用して、立派な屋根付きのバス停を作っていただけたなと思います。無料乗車というのは、適宜やっていただけると、普段乗り慣れていない方も、これを機に巡回バスの存在を認識していただいて、この日だけではなくて、正式な利用者になっていただけるという期待もあってやっているというところでもあります。

報告(2)(3)の件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

無いようですので、次に報告(4)「愛知県公共交通協議会設置規約について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(清水係長)

それでは、報告(4)「愛知県公共交通協議会設置規約について」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料4をご覧ください。

愛知県では、令和5年度から地域公共交通計画の策定にあたり、計画策定の法定協議会として、愛知公共交通協議会を設置されております。

同協議会規約の第7条において、従来の愛知県バス対策協議会で行っていました路線の休止や廃止に関する協議を行うための道路運送法に基づく地域協議会として、バス対策部会が設置されることとなっております。

当会議に関することといたしましては、規約第9条に、そのバス対策部会の中に「小部会」が設置され、「小牧市地域公共交通会議」は、この小部会にみなされることとなっており、小部会での協議事項のうち、「道路運送法の規定に基づく路線の休止又は廃止に関する事項」につきましては、「小牧市地域公共交通会議」での協議結果がバス対策部会の承認とみなされることとなりました。

本市では、現時点では、路線の休止や廃止の予定はございませんが、当会議の皆様にはご承知おきいただければと思います。

以上で報告(4)「愛知県公共交通協議会設置規約について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

「愛知県公共交通協議会設置規約について」事務局より説明がありましたが、愛知県様から補足説明がありましたらお願いします。

【赤羽委員代理】

愛知県交通対策課の赤羽です。

先ほど出ました9条の小部会につきまして、少し補足をさせていただきます。9条の対象となるバス路線については、具体的には小牧市内で完結する路線が対象となります。現状、対象となり得

るバスはピーチバスのみだと思っております。このような規定は県内の市町村全てに当てはまるように書いてありますので、民間バス路線の全てを小牧市の地域公共交通会議で取り扱うことにはイコールではありませんのでご注意くださいと思います。

【磯部会長】

報告(4)の件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

他にご発言もないようですので、次に移りたいと思います。

次第の「3 その他」であります。事務局から説明をお願いします。

【事務局】(清水係長)

それでは、事務局より1点ご報告させていただきます。

「小牧市地域公共交通会議の日程について」でございます。

今年度の会議の開催予定につきましては、議題1「小牧市地域公共交通計画の策定について」でご説明させていただいたとおりであり、本日を含めて3回開催させていただく予定であります。

第2回の開催は10月上旬を予定しておりますので、協議、報告事項等の案件が整い次第、改めて文書にてご連絡させていただきます。

以上であります。

【磯部会長】

ありがとうございます。

他にありますでしょうか。

【浦西委員】

老人クラブの浦西と申します。

私はずっと桃花台に住んでいるんですけども、旅行とかで大阪とか東京とか行くときに、どうしても新幹線が必要になりますので、そういった時に中央高速桃花台駅から直通で名古屋まで行けるのがあるんですね。それを非常によく利用しているんですけども、できましたら桃花台だけではなくて、その経路で、小牧市のある程度なところに駅、ステーションを2、3箇所作っていただいて、そういったところから乗れば小牧の皆さんが、桃花台の皆さんが、名古屋駅まで行くのに非常に便利になるのではないかと思います。この民間路線マップを見ますと、かなり停車駅が多くて、名鉄バスセンターまで行くのに、このルートで行くとかかなりの時間がかかるんです。それを高速で行きますと早いですし、停まるのが栄だけなんです。そういったことで、これだけ小牧の中を高速道路が通っているのであれば、やはり2つか3つのセクション、バス乗り場を作っていただければ、ただこれは、国の問題もあるんでだろうと思うんですけども、そういったところをお願いしたいと思います。

【事務局】(川島課長)

委員がおっしゃいます通り、中央道の高速バスがございますが、それ以外に名古屋駅まで行くバスとしましては、名鉄バス様の近距離高速バスがございます。今後、地域公共交通計画を策定して

いく中で、そういった広域アクセスの需要等についても把握いたしまして、検討させていただければと思います。

【大野委員】

名鉄バスの大野でございます。

日頃、桃花台バスストップのところから、高速バスをご利用いただきまして大変ありがとうございます。この路線につきましては、弊社の名鉄バス、信州の方の信南交通様、伊那バス様、お隣の方の東濃鉄道様、この各事業者のバスをご利用いただけると思います。

ただ残念なことに、コロナの影響で、名古屋の繁華街の方に出向く機会が大変少なくなっておりまして、減便をしているところでございます。それから、事務局様の方からお話がありました、桃花台の中を走って元町のところから高速道路に上がっていく近距離高速バスもございます。こちらの方も実は減便をしております。

コロナが収束してきて、これから多少状況が変わってくれば、減便から少し復便の方をしていければと、社内の方で検討もしておりますので、今後、利用実態を把握しながら、復便のほうに努めさせていただきますので、またご利用いただければと思います。

【磯部会長】

ありがとうございます。

他にありますでしょうか。

【本田委員代理】

愛知運輸支局の本田です。

私の方から、お手元に配らせていただきました資料で、交通事業者のドライバーの方々の労働時間が令和6年の4月から変わると言う事ですので、若干説明させていただきたいと思っております。

バス、タクシー等の運送事業のドライバーなんですけれども、他の事業者さんの労働時間に比べて賃金が安い、というところがありまして、慢性的にドライバー数が足りないような状況が続いているところでございます。今後、バス、タクシー等々、将来的に維持存続していくためには、やはり他の産業並みに時間短縮ですとか、賃金アップを進めていく必要があるということで、今回のチラシのような形で、令和6年4月から労働条件等を改正することとされています。

詳細につきましては、裏前に記載しておりますので、お時間ある時にご覧いただければと思います。大きな改正点といたしましては、表面の下の方に書いてあるんですけれども、時間外労働時間が、年960時間の上限規制を設けるといったところで、今まで運送事業におきましては、少ないドライバーで回し、そういった部分で各ドライバーさんの時間外労働だとかで、維持されてきたところではあるんですけれども、今後におきましては、時間外労働におきましては労働基準法でしっかりと定められたこととなります。罰則規定も設けられるということとなっております。

そのため、令和6年4月以降、今まで以上に運送事業者の皆様方は非常に厳しい舵取りが求められているといったところでございます。今後の交通計画の策定、あるいは路線再編に向けて、各運送事業者がそういったドライバーの部分の厳しいというところを頭の片隅に入れておいていただいた上で、議論していただければありがたいと思います。関係者の皆様におかれましては、ご理解

ご協力のほどぜひよろしくお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

他にありますでしょうか。

事務局から説明がありましたが、今年度は、小牧市地域公共交通計画の策定に取り掛かるため、本会議を本日含めて3回予定しているということでもありますので、委員の皆様にはご協力よろしくお願いいたします。

それでは、進行を事務局へお返しします。

【事務局】（川島課長）

本日は長時間ご協議いただきまして、大変ありがとうございました。

これをもちまして、令和5年度第1回小牧市地域公共交通会議を閉会します。

皆様、ありがとうございました。